

入院診療計画書② 慢性硬膜下血腫の手術を受ける方へ

ID：患者ID

新規作成日： 新規作成日

氏名： 氏名

日付	入院日・手術当日		術後1日目		術後2日目	術後3日目 ~ 術後6日目	術後7日目	術後8日目	
経過	手術前	手術後	ドレーン抜去前	ドレーン抜去後					
目標	手術について理解できる 入院生活について理解できる	手術経過に問題がない 神経症状・所見がない 創部に問題がない ドレーンに問題がない	中枢神経障害の症状・所見がない	ADL（日常生活動作）の低下がない				日常生活の注意点について理解できる	
注射	点滴	点滴	点滴	点滴					
投薬	内服中のお薬がある場合は、お知らせください。継続を確認します。			●再発を予防するための漢方薬を処方することがあります。 ●常用薬がある場合は、病状により再開します。状態に応じて、看護師がその都度お配りします。					
検査									
放射線		頭部CT撮影	頭部CT撮影 8:30~9:30の間				頭部CT撮影 8:30~9:30の間		
処置	●手術着へ更衣します。 ●手術室で、手術部位の剃髪をします。	●心電図を付けます。 ●必要に応じて、身体拘束をさせていただく場合があります。		●医師が診察して頭の管を抜きます。 ●心電図などの器械をはずします。	創部のテープが剥がれてしまった場合は、適宜消毒して交換します。		抜糸をします。		
食事	絶飲食	飲水のみ (状態によります)	朝食から食事開始	食事内容は状態により異なります。ご希望に応じて、食事の種類を変更することができます。					
清潔				温かいタオルで体を拭きます。ご希望があるときは、遠慮なくお申し付けください。 ●首から下のシャワー浴ができます。 ●お手伝いが必要な場合は看護師が介助します。					
排泄	必要に応じて、お小水の管を入れる場合があります。	●ベッド上での排泄になります。 ●看護師が援助します。我慢せずお知らせください。		●頭の管が抜けた後は、トイレへ行くことができます。 ●ふらつく場合は看護師が付き添います。					
安静度	可能な範囲で動くことができます。	●頭に管が入っているため、頭を上げたり、起き上がることはできません。 ●寝返りは可能です。	管を一時的に閉じて、ベッドアップ座位まで可能です。起き上がる時は管を止めるので一人で起き上がらないでください。	●頭の管を抜いた後は、活動の制限はありません。 ●安静解除後の初回歩行は、ふらつき転倒の危険があるため、看護師が付き添い歩行状態を確認します。				退院指導 ●次回外来と検査の予定を説明します。 ●次回外来まで、アルコールと車の運転は控えてください。また、激しい運動も控えてください。その他に日常生活に制限はありません。	
リハビリ				必要に応じてリハビリテーションを行いません。					
看護ケア	手足の動かしにくさや意識の状態を確認します。								
	入院時、手術室出棟前に体温や脈拍、血圧などを測ります。	帰室時~6時間後まで2時間毎に体温や血圧、脈拍を測ります。	体温、脈拍、血圧などを測ります。	●体温、脈拍、血圧などを測ります。 ●頭痛や吐き気の有無を確認します。痛みや吐き気などの症状がある場合は、我慢せずお知らせください。					
	手術同意書を確認します。	管からの排液量を観察します。							
指導	●入院オリエンテーション、スケジュールを説明します。 ●薬剤師が、お薬の確認と説明に伺います。 ●手術室まで、ご家族に同行していただく場合があります。 ●手術中、ご家族は病室で待機していただきます。やむを得ず外出する場合は、必ず看護師に声をかけてください。	医師から手術後の説明があります。		●筋力の衰えを予防するため、積極的に動くようにしましょう。 ●転倒の危険がある場合は、看護師が歩行に付き添います。 ●ご面会時には、なるべくベッドから離れる時間を持てるようご協力ください。			医師から術後の経過について説明があります。日時は変更になる場合があるため、看護師からご連絡します。		●入浴、洗髪は可能です。傷口は泡立てたシャンプーで指の腹で優しく洗うようにしてください。